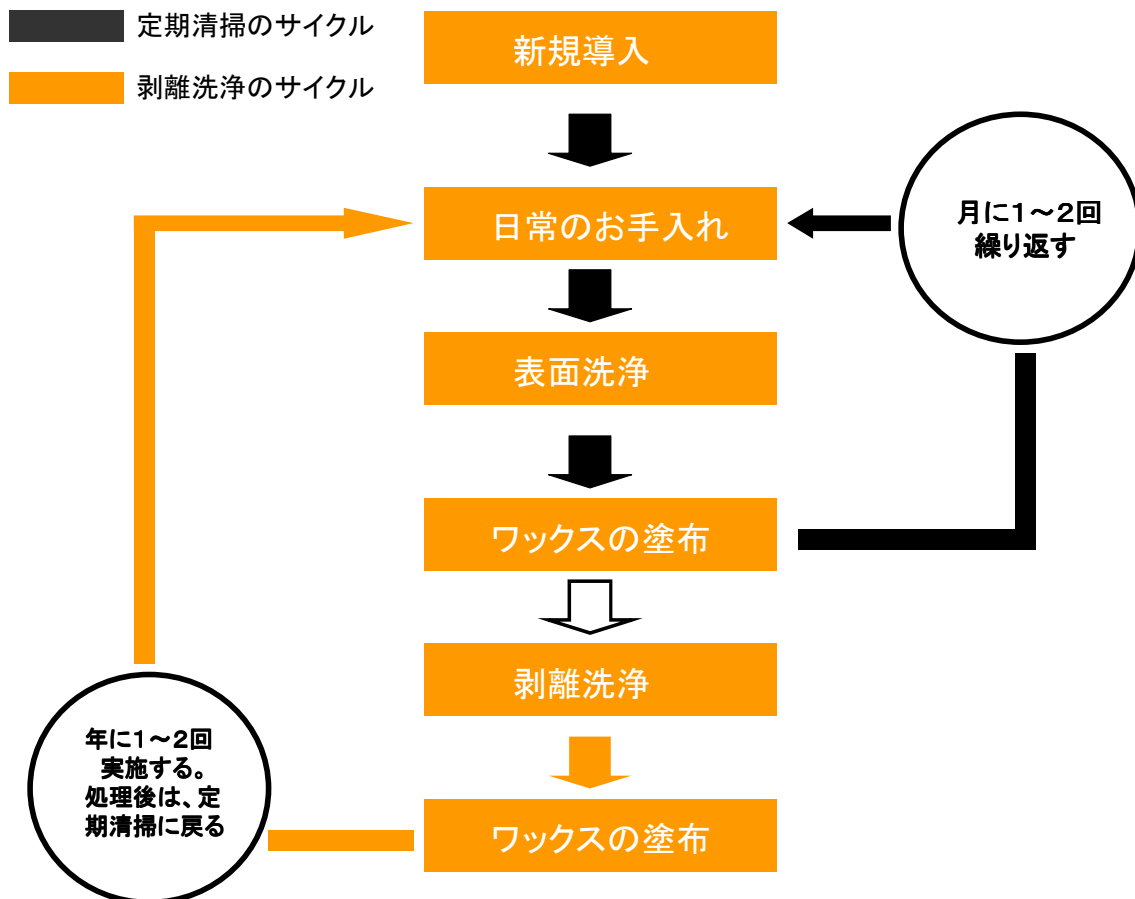


塩ビシート・タイルのメンテナンス

日常のお手入れとワックス



1. 導入時のお手入れと注意

①施工時の注意

工事関係者の出入りによる土砂や塵埃で汚れや傷がつきやすくなるため、出入口にマット等を敷き、履物を替えて出入りするよう注意を促します。また工事用脚立等のゴム製キャップや車輪には床材を汚染するものもありますので長時間、静置しないなどの十分な注意が必要です。

②施工後の汚れ防止

接着剤等が床材表面に付着した時は速やかに拭き取ります。接着剤が硬化した場合は、表面を傷つけないよう鋭利な刃物で削り取り、中性洗剤を含ませた布でよくふき取ります。

③洗浄とワックスの塗布

接着剤が硬化して水洗いできるようになったら、水の使用をできるだけ少なくしながらクリーナーで洗浄し、すすぎ拭き乾燥後ワックスを塗布します。

2. 日常のお手入れ

①汚れの持ち込み防止

外からの土砂や雨水の持ち込みを避けるため、出入口にはマットや傘立てなどを設置します。

②清掃

日常の清掃は、ほうき・掃除機・ダスター等でチリやホコリをとり、固く絞ったモップ・雑巾で水拭きします。

③ひどい汚れの除去

汚れがひどい場合は、クリーナーまたは中性洗剤を薄くとかして雑巾等で拭き取り、その後きれいな雑巾等で水拭きします。

④ワックスの塗布

汚れを予防するため、床材の種類にあったワックスを塗布します。

3. 表面洗浄・剥離洗浄・ワックスの塗布

①表面洗浄

日常のお手入れで取れない汚れやキズ等で全体に汚れが目立ち始めた時に実施します。

1) クリーナーの塗布

ゴミ等をほうき、掃除機等で取り除きます。クリーナーを汚れの程度に応じて水または温水で希釈し、モップで均一に塗布します。

2) フロアの洗浄

ポリシャーまたはブラシ等で汚れを取り除きます。

3) 汚水の除去

スクイージーまたはウェットバキュームクリーナーで汚水を取り除きます。

4) 水拭き仕上げ

乾かないうちにきれいなモップで十分に水拭きして、汚水を完全に拭き取ります。

5) 床面を十分に乾燥します。

②剥離洗浄

汚れがワックス皮膜の表面だけでなく、内部に抱き込まれたり、皮膜が黄変や粉化した時に実施します。古くなったワックスを取り除く洗浄で、年に1～2回は剥離剤を用いて行います。

1) リムーバーの塗布

ゴミ等をほうき、掃除機等で取り除きます。普通の汚れには剥離剤をまたは温水で製品に記載されている部数に希釈してモップでたっぷり平均に塗ります。

2) フロアの洗浄

5～10分間放置した後、フロアポリッシャーで樹脂ワックスを剥離洗浄します。
(ワックス膜を完全に除去します)

3) 汚水の除去

スクイージーまたはウェットバキュームクリーナーで汚水を取り除きます。

4) 水拭き仕上げ

乾かないうちに、きれいなモップに水を含ませて、水拭き洗浄します。水拭きは3回以上行います。(水拭きが悪いと次のワックスの乗りが悪くなります)

5) 床面を十分に乾燥します。

③ワックスの塗布

- 1) 床面を完全に乾燥させてから、クリーンな容器と清潔な良く乾いたモップを使います。
- 2) ワックスを専用モップで塗り残しのないように均一に塗布します。約30分程で乾燥しますが、さらに30分放置すればより効果的です。
- 3) 歩行量の多い場所や長時間効果を維持するには2～3回重ね塗ります。(その都度、十分に乾燥させる)
※床材がすべりやすくなり大変危険ですので、樹脂ワックス以外のご使用はさけて下さい。

4. フロアーポリッシュについて

●合成樹脂床に適した水性フロアーポリッシュ

一般に床用ワックスと呼ばれているものは正式にはフロアーポリッシュといいます。金属キレート樹脂を主成分にしているため、皮膜強度に優れ、最初に3～4回重ね塗りしておけば、その後は月に1～2度から2～3ヶ月に1度位の1回塗りでメンテナンスができることから良く用いられます。ワックス膜中に入り込んだ汚れはリムーバーで除去します。

○ワックスタイプ：一般に水性ワックスと呼ばれ不揮発分10%以上。

○ポリマータイプ：一般に樹脂ワックスと呼ばれ不揮発分12%以上。

フローアールリッシュ

乾燥後に皮膜を形成して、物理的・化学的方法によって簡単に除去出来るものです。

